

音声学・音韻論は 構音・音韻障害の臨床をどうかえるか？

～音声学・音韻論が強化するセラピーの効果：音声学と音韻論の役割～

構音・音韻障害に対するセラピーは、音声学と音韻論の知識を身に着けることで、成果が格段に向上します。本講演では、これを日本語の実例に即して解説します。第1部は、Stemberger 教授に、どのようにして症状を正確に転写(分析の対象となるように写しとること)するかを、第2部は、Bernhardt 教授に、その対象を、音韻論でどのように分析し、セラピーに応用していくかについてご講演いただきます。また、本講演では、フリーアクセスの構音評価表や資料も提供いたします。大変貴重な機会ですので、どうぞお誘いあわせのうえお越しください。

入場無料
予約不要

講師紹介



Joseph P. Stemberger 教授

Joseph P. Stemberger 博士：プリテッシュコロニア大学（カナダ）言語学科教授，専門分野は成人ならびに子供の母語獲得の発話産出過程の音韻論と形態論。そして，その研究対象は多言語におよび，近年では英語，ソロヴァキア語，ザポテック語を研究している。



B. May Bernhardt 教授

B. May Bernhardt 博士：プリテッシュコロニア大学（カナダ）言語病理学・音声科学院教授，専門分野は，言語発達，評価，ならびに音声学・音韻論を用いての指導とセラピー。現在，Stemberger 博士等と多言語（11 言語：含む日本語）の共通するところと個別的なところを考慮した音韻論的評価のモデルを構築している。

会場案内

	日時	場所
大阪会場	2月16日 日 13:00～16:30 (12:30 開場)	大阪大学 豊中キャンパス 言語文化研究科 A棟2階大会議室 〒560-0043 豊中市待兼山町1-8 http://www.lang.osaka-u.ac.jp/1c/
浜松会場	2月17日 月 18:10～21:30 (17:50 開場)	浜松市研修交流センター 5階 51 研修交流室 〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1 (アクシシティ浜松 楽器博物館階上) http://www.actcity.jp/sponcer/seminar/
広島会場	2月19日 水 18:00～21:30 (17:30 開場)	広島大学 東広島キャンパス 教育学部 L205号教室 〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 (広島大学総合博物館階上) http://www.hiroshima-u.ac.jp/ed/

各会場とも入場無料、事前予約も不要です。（日本語通訳あり）

（当日が混雑が予想されますのでお早めにお越しください。全員分の座席が確保できない場合もございます。）

お問い合わせ

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1 豊橋技術科学大学 総合教育院 氏平 明
TEL & FAX : 0532-44-6956 e-mail : pxm06100@nifty.ne.jp

主催：科学研究費補助金「言語の普遍性と個別性を考慮した言語障害の症状の解明とそのセラピーの研究（課題番号：23320083，代表：氏平明）」チーム，大阪大学大学院言語文化研究科，広島大学大学院教育学研究科・同附属特別支援教育実践センター・同特別支援教育学講座・同言語と認知の脳科学プロジェクト研究センター，福岡教育大学教育総合研究所附属特別支援教育センター・同特別支援教育講座

共催：国立大学法人障害児教育関連センター連絡協議会，聖隷クリストファー大学

後援：日本言語聴覚士協会（申請中），日本コミュニケーション障害学会，日本音声言語医学会，NPO 法人全国ことばを育む会，広島県言語聴覚士会，大阪府言語聴覚士会

協賛：日本音声学会，日本音韻論学会，京都言語障害研究会，大阪医療福祉専門学校

本講演会は，科学研究費補助金（基盤研究 B）「言語の普遍性と個別性を考慮した言語障害の症状の解明とそのセラピーの研究（課題番号：23320083，代表：氏平明）」の経費による補助を受けています